

## 32 同期会、卒後 50 年の記念会開催

(学位授与式参列と獣医学部棟・臨床センター見学等)

昭和 32 年、当時の麻布獣医科大学を卒業した私たち同期は、これまで数年置きに同期会を開催してきましたが、今回は卒後 50 年を記念し、これまでとは違った会を開催することとしました。そこで考えついたのが「母校で 50 年後の卒業式に参列してみよう」というものでした。

この思いもよらぬ話に、大学事務局の担当課も戸惑いを感じたようですが、政岡学長からの「同窓生が学位授与式に参列することは大変素晴らしく、大学と同窓との関係強化に役立ち意義あること」との一言で、実現することができました。

この取り組みについては、多くの学園関係者にも喜んでいただき、中には「自分達も同様な会を計画したい」という同窓会員のお話も聞かされました。

そこで、このたび同窓会長から「今回の模様を同窓会報に投稿して欲しい」との話もあったことから、私たち「32 同期会卒後 50 年記念の会」の取り組み経緯と会の概要を紹介することに致しました。

### 取り組みの経緯

長寿国日本とはいえ、70 歳を過ぎた身には何時、何が起きるか分かりません。何かと不都合なことも生じます。そこで、とりあえずは同期会への参加の可能性についての事前アンケート調査を実施することにしました。

アンケート調査の結果は、用紙発送者数 90 名の内、参加希望 40、体調不良などによる不参加 30、その他 20 の回答が得られました。この結果を踏まえ、平成 18 年 9 月、東京、神奈川在住の同期が東京新宿に集まり、会の日時、内容等について話し合いを行いました。

その席で「母校の学位授与式に参列すること」、卒後 50 年を記念し「母校に何らかの記念品を残すこと」、「懇親会は横浜のホテルで行うこと」、行程は宿泊も兼ね 1 泊 2 日とすることが確認され、この考えをベースに次のような計画が立案されました。

- ① 開催日時は、平成 19 年 3 月 15 日から 16 日の 2 日間
- ② 卒業式への参列は、平成 19 年 3 月 15 日、13 時 30 分からの獣医学部及び大学院獣医学研究科の学位授与式に参列する。
- ③ 式後に、完成間もない「獣医学部棟」と隣接する「獣医臨床センター」及び「動物病院」を見学する。
- ④ 宿泊先は「横浜ニューグランドホテル」として、大学からの移動はバスをチャーターする。
- ⑤ 最終日は、横浜中華街での昼食後に解散する。

というものです。

上記日程による事業内容での参加者を再確認した結果、参加希望者は 32 名（内 5 名は同伴者）となったことから、この数字を踏まえ、宿泊場所の下見を兼ねた世話人会を横浜ニューグランドホテル開催、事業内容の最終確認及びおおよその必要経費についても確認し

ました。これは地方から出てくる者が多いことから大変重要なことと考えたことによります。

参加者の中には、昭和 32 年の卒業以来、初めて母校を訪ねる者もいることから、下車駅と駅からの道順、集合場所までの案内掲示や守衛所での対応等も必要となり、加えて、集合場所での接待や混雑する中での学位授与式会場への誘導、学生応援団からのエール、獣医学部棟及び動物病院への案内等々について、大学事務局への依頼や打ち合わせを行う中で、事務局では各担当者による詳細な検討と準備を進めて頂きました。

### **卒業 50 周年記念事業の内容**

上記のような取り組み経緯で実施した「32 同期会、卒業 50 周年記念事業」の内容は、概ね次の通りです。

#### **1 学位授与式への参列と施設見学等**

3 月 15 日 「110 周年記念会館」2 階多目的会議室に 13 時までに集合。

受付は 12 時から行いましたが、すでにその前から来学し大きく変貌した母校を感嘆の思いで見学する者も少なくありませんでした。

式典参列に先立ち、政岡学長及び有嶋獣医学部長が集合場所の 110 周年記念会館まで出向き、それぞれから歓迎のご挨拶を頂き感激しました。

その後、大学職員の誘導で式典会場の 100 周年ホールへ移動しましたが、8 号館と 100 周年記念ホールの素晴らしさに、50 年前の自分たちの卒業式会場との違いに驚くことしきりというところでした。

式典では、政岡学長の「学長告示」の中で「昭和 32 年卒業の同期が 50 年ぶりに参列している」旨の紹介を受けましたが、私たちの近くにいた学生やご父母の方がたからは驚きの声が聞かれ、同時に、学長の紹介によって一斉に注がれた多くの視線は、私たちにとって面映くチョット誇らしくも感じました。

また、村田元秀学園理事長の祝辞の中でも、私たち 32 同期会の参列に対し丁寧な歓迎のご挨拶を頂き、一同大変恐縮いたしました。

式も終わり、卒業生及びご父母、ご来賓が退席されたことで、それまで卒業生を間にし着席していた私たちと獣医学部教員の皆さんとが初めて相対することとなり、教員の皆さんから歓迎の大きな拍手を頂きました。多分、50 年ぶりに参列した同窓の数の多さにも驚かれたのではないかと思います。

この学位授与式参列では、式典や会場のすばらしさもさることながら、自らが卒業後 50 年の歳月を無事生きて今日を迎えることが出来たことに対して涙する者も少なくありませんでした。

会場を出たところで、在学生及びOB応援団による歓迎のエールを受けましたが、応援団の演舞には、式典に参列したご父母や卒業生、在校生も大喜びで、多くの人だかりが出来ていました。

エールの後は、昨年秋に完成した真新しい獣医学部棟を見学しましたが、この見学では、紫野同窓会長に案内役を勤めていただきました。参加者にとっては、その規模の大きさや屋上庭園の素晴らしさに感激する者も多くおりました。

続いて、小方獣医臨床部長の案内で獣医臨床センター及び動物病院内の設備を見学し、

学生や研究生による利用状況等の説明を受けましたが、ここでも時代の先端を行く母校の充実した臨床施設や設備に感心し熱心に質問をしていました。そのため予定時間をオーバーし、私たちの後に、110周年記念会館での会を予定していた病理学研究室の皆さんには大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。この紙面をお借りし改めてお詫び致します。

## 2 記念パーティー等

同窓会長の見送りを受けながら、加奈中バスで一路横浜のパーティー会場へと向かいましたが、バスはイチョウ並木通りから淵野辺駅前、桜美林学園、町田街道へとすすむ中で、多くの参加者は、淵野辺駅の変わりように驚くと共に、すでに頭の中は50年前の学生時代にタイムスリップしたようで、窓外の景色に懐かしさを感じながら思い出話に夢中になっていました。おかげで、道路の渋滞もあまり気にならずに済み世話人としてはホットしたものです。

横浜山下公園脇にあるニューグランドホテルには、予定より少し遅れての到着でしたが、記念パーティーの開始にはどうにか間に合い、各自割り振られた部屋でしばしの休憩をとりました。

記念パーティーは、山下公園棧橋から出航するマリンルージュ号に乗っての「クルージングディナー」を計画していました。

パーティーでは、始めに、前回の同期会以降に逝去した物故者に黙祷を捧げた後、参加者全員からの近況報告、続いてカラオケと懇談となり、フランス料理に舌づつみをうちながらベイブリッジやみなと未来21の夜景を楽しみ、2時間30分は見る間に過ぎてゆきました。

翌朝は、窓外に開ける横浜港やベイブリッジ、眼下の山下公園を散策する人やジョギングをする人を眺め、各自好きな朝食を摂った後は11時のチェックアウトまでの時間を好きなように過ごしてもらいました。中には、近年名所となった「赤レンガ倉庫」や「大棧橋」まで出かけた者もいましたが、丁度、大棧橋には大型の客船が寄港してきました。後で確認したところでは、その船は「飛鳥Ⅱ号」だったそうです。

ホテルを出た後は中華街を散策しながら昼食会場の重慶飯店まで移動、途中で記念撮影等を行いました。

重慶飯店では中華料理と老酒に舌づつみをうち、お開きとしました。

このように、私たち32同期会卒後50年記念の会は、楽しく盛会裏に終了しましたが、この度の取り組みに対しては、初めての対応が多かったにもかかわらず、ご理解とご協力を頂きました政岡学長を始め、多くの学園関係者に深く感謝の意を表します。有難うございました。

なお、「学園への記念品」は現在学園と調整中のため、後日改めて報告をさせていただきます。

以上 文責 池澤 聖明

